

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年 1月 日

協議会名: 下野市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<p>【事業者名】 関東交通株式会社</p> <p>【運行系統名】 下野市全域</p>	<p>【デマンド交通「乗合タクシー」】 事業者名: 関東交通株式会社 運行区域: 下野市全域(石橋・国分寺・南河内の3エリア) 運行日: 月曜日から土曜日 ※祝日及び振替休日、年末年始(12/30~1/3)を除く 運行時間: 午前8時00分~午後6時00分 運行本数: 1エリア10便/1日 運行車両: 10人乗りワゴン車 3台(1エリアごとに1台配置) 運賃: 大人(中学生以上)300円・小学生200円・未就学児無料(ただし、保護者同伴を要する)</p>	<p>平成28年4月に策定した「下野市地域公共交通総合連携計画」に基づき、デマンドバスを運行している。 また、市民講座や民生委員の定例会等で意見交換の場を持つとともにデマンドバスのPRを行ったり、アンケートを実施して利用者や市民の意見要望等を収集する等、地域に根付いた持続可能な地域公共交通体系の確立に向けた取り組みを行った。</p>	<p>A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>B 効率的な運行を継続するとともに、民生委員や市民講座等での利用案内、アンケートの実施など、市民のデマンドバスを中心とした公共交通に対する意見要望の収集とともにPRIに努めたが、1日当たりの利用者数は76.7人で、目標の64.0%となった。</p>	<p>引続き、利便性が高く、効率的な運行を継続しながら、利便性や効率性の向上を目的に今後の運行形態や内容について検討する。 また、PRを強化するとともに、その内容についても、より市民の関心を引けるよう工夫し、利用促進を図る。</p>